



上智大学イベロアメリカ研究所

2018 年度活動報告

(2018 年 4 月～2019 年 3 月)

No. 26 (2019 年 5 月)

§ 研究会

◆ 研究所共同研究「トランスボーダー・ラテンアメリカン・スタディーズ」

研究代表者：Mauro NEVES

共同研究者：Nilta DIAS、Lucila GIBO、Nina HASEGAWA、幡谷則子、子安昭子、Bernat MARTÍ OROVAL、水谷裕佳、田村梨花、Helena TOIDA、内村俊太、矢澤達宏、吉川恵美子

海外出張：Lucila GIBO (サンパウロ、カンピーナス、カンポ・グランデ、8 月 18 日～9 月 10 日)
Bernat MARTÍ OROVAL (マドリード、バレンシア、8 月 6 日～29 日)

◆ 南山大学ラテンアメリカ研究センター・上智大学イベロアメリカ研究所主催「ラテンアメリカのイメージに関する共同研究」[カトリック学術奨励金研究助成金による『イメージの中の日本とラテンアメリカ研究』共催]

出版：浅香幸枝編『交差する眼差し—ラテンアメリカの多様世界と日本—』(行路社)

◆ ランチタイム・フリートーク

- | | | |
|--------|-----------|---|
| 第 83 回 | 4 月 23 日 | 谷洋之「ラ米農産物輸出の新たな動向」 |
| 第 84 回 | 5 月 17 日 | 矢澤達宏「ブラジル人パン・アフリカニストの誕生—アブディアス・ド・ナシメントはなぜアフリカに目を向けたのか—」 |
| 第 85 回 | 6 月 7 日 | Juan Ricardo GÓMEZ SERRANO, Sebastián RESTREPO CALLE 「Colombia, los retos frente al buen uso de la biodiversidad, en un momento de cambio socio-político」 |
| 第 86 回 | 7 月 17 日 | Bernat MARTÍ OROVAL 「スペイン人宣教師が見たアステカ宗教と日本仏教—16 世紀におけるキリスト教の異宗教理解を巡って—」 |
| 第 87 回 | 9 月 20 日 | Lilian ÁLVAREZ ARELLANO 「La literatura para niños en el desarrollo de México」 |
| 第 88 回 | 10 月 9 日 | Arminda María BAREIRO 「El castellano y el guaraní en la literatura paraguaya」 |
| 第 89 回 | 10 月 25 日 | 大場樹精「アルゼンチンにおける家事労働者の現状」 |
| 第 90 回 | 11 月 26 日 | Mauro NEVES 「Para onde vai a música popular do Brasil?」 |
| 第 91 回 | 1 月 22 日 | 箕輪茂「メキシコの 2014 年選挙制度改革：その概要と課題」 |

§ 講演会

◆ 5 月 24 日 “Relaciones América Latina-Japón: centenario del establecimiento de relaciones diplomáticas entre Ecuador y Japón”

(「ラテンアメリカと日本の関係—エクアドル・日本外交樹立 100 周年を記念して—」)

Jaime BARBERIS (エクアドル大使)

〈協力：駐日エクアドル大使館〉

◆ 6 月 6 日 “How can research and educational activities contribute to achieving the UN sustainable development goals?”

(「SDGs 達成のための教育・研究活動の役割を共に考える」)

〈登壇者〉

黄光偉 (地球環境学研究科教授)

Sebastián RESTREPO CALLE (ハベリアナ大学教授)

Juan Ricardo GÓMEZ SERRANO (ハベリアナ大学教授)

〈モデレーター〉

あん まくどなど (上智大学地球環境学研究科教授)

〈パネリスト〉

黄光偉

Sebastián RESTREPO CALLE

Juan Ricardo GÓMEZ SERRANO

織 朱實(地球環境学研究科教授)

幡谷則子(外国語学部教授・イベロアメリカ研究所所員)

〈主催:地球環境研究所／共催:ハベリアナ大学・上智大学地球環境学研究科／協力:イベロアメリカ研究所〉

【上智大学国連 Weeks】

- ◆ 6月12日 “Colombia, los retos frente al buen uso de la biodiversidad, en un momento de cambio socio-político”
(「コロンビアにおける生物多様性の善用をめぐる—社会的政治的変容過程にある新しい挑戦—」)

Sebastián RESTREPO CALLE(ハベリアナ大学教授)

Juan Ricardo GÓMEZ SERRANO(ハベリアナ大学教授)

〈共催:上智大学外国語学部イスパニア語学科〉

- ◆ 10月19日 “Programa de intercambio entre periodistas de América Latina y el Caribe y estudiantes en Japón: América Latina y el Caribe y Japón que yo veo”
(「中南米からのジャーナリストと日本の学生交流プログラム:私が見る中南米と日本」)

〈共催:上智大学、独立行政法人国際協力機構(JICA)／協力:イベロアメリカ研究所〉

- ◆ 10月24日 “The Land of The Rising Sun: Trends in Renewable Energy Policy in Brazil”

(「日出ずる国」ブラジルの再生エネルギー政策トレンド)

Antonio José Junqueira BOTELHO(カンジド・メンデス大学教授)

〈共催:外国語学部ポルトガル語学科〉

- ◆ 11月19日 「ベネズエラ:破綻する経済と権威主義化する政治」

〈共催:ジェトロ・アジア経済研究所〉

- ◆ 11月22日 「ブラジルはどこへ向かうのか—2018年大統領選挙を終えて—」

舩方周一郎(神田外語大学講師)、

大岩玲(外務省中南米局南米課課長補佐)、

竹下幸治郎(日本貿易振興機構海外調査部中南米主幹)

子安昭子(外国語学部教授・イベロアメリカ研究所所員)

田村梨花(外国語学部教授・イベロアメリカ研究所所員)

堀坂浩太郎(上智大学名誉教授・イベロアメリカ研究所名誉所員)

マウロ・ネーヴェス(外国語学部教授・イベロアメリカ研究所所長)

【Sophia Open Research Weeks 参加企画】

- ◆ 12月20日 「コロンビア外相来日記念講演」

H.E. Carlos Holmes TRUJILLO

〈主催:上智大学／駐日コロンビア大使館

協力:イベロアメリカ研究所／

グローバル・スタディーズ研究科グローバル社会専攻〉

- ◆ 1月10日 “O Brasil, ainda país do futuro?”

(「ブラジルははまだ「未来の国」たり得るか」)

Richard MARIN(トゥールーズ・ジャン・ジョレス大学名誉教授)

§ 公開講座「ラテンアメリカ・レクチャーシリーズ」

第6回「米国メキシコ国境を越えた協力と連携の現状」

[コーディネーター: 水谷裕佳]

- ◆ 6月21日 「米国メキシコ国境地域の歴史や文化」

水谷裕佳(グローバル教育センター准教授・イベロアメリカ研究所所員)

- ◆ 6月28日 「米国内で展開されるラテンアメリカ系移民／難民の支援活動」 水谷裕佳

- ◆ 7月5日 「キノ国境イニシアティブによる人道支援の現状」

Joanna WILLIAMS(キノ国境イニシアティブ広報担当)

§ シンポジウム

- ◆ 10月13日「アルゼンチン:正義を求める戦いとその記録—性暴力を人道に対する犯罪として裁く!—」

Nora CORTIÑAS

Graciela GARCÍA ROMERO

Verónica TORRAS (「メモリア・アビエルタ」代表)

石田智恵 (早稲田大学法学学術員専任講師)

〈共催:アクティブ・ミュージアム「女たちの戦争と平和資料館」(WAM)／
グローバル・コンサーン研究所／イベロアメリカ研究所／カトリックセンター〉

§ 出版物

- ◆ 『2017年度活動報告』 No. 25

- ◆ *Boletín Informativo*, No. LXIII

- ◆ 吉武希恵「トランスナショナルな関係性の中で創造されるコミュニティ—2000年以降の米国におけるメキシコ系移民の事例を参考に—」(ラテンアメリカ研究 No. 42) (ISBN 978-4-904704-18-9)

序章

第I章 米国における移民社会・コミュニティの形成史と現状

第II章 トランスナショナルな移民コミュニティの理論的枠組みと変遷

第III章 トランスナショナルな移民コミュニティの事例比較

終章

参考文献

要約(スペイン語)

- ◆ 水谷裕佳編「境界を越えた出会いの空間としての米国メキシコ国境地域」(ラテンアメリカ・モノグラフ・シリーズ No.28) (ISBN 978-4-904704-19-6)

まえがき

I. 米国メキシコ国境地域の現在／水谷裕佳

II. Dignidad humana y acompañamiento en la frontera: una perspectiva de Iniciativa Kino para la Frontera /
Joanna WILLIAMS

- ◆ *Encontros Lusófonos* (ISSN 1346-5058), No.20 (2018)

ブラジル日本移民110周年記念 特別寄稿論文

準二世試論—戦前期子供移民の〈人となり〉—／森幸一

Legado dos 110 Anos da Imigração Japonesa para o Brasi: Haiku, Haikai, Videohaiku, Namahaiku e
desdobramentos artístico-culturais / Almir ALMAS e Cecilia Noriko ITO SAITO

研究ノート

サウダーデ再考—ポルトガル人類学の再帰的動向と「世界化」に対する一つの貢献／相原健志

ブラジル人女性の高等教育史に関する一考察—1808年から1946年までの期間に焦点をあてて—／
ホリウチ・アリッセ・イズミ

書評

Onichi, Pedro, *Domingos Chohachi Nakamura: O Apóstolo dos Imigrantes Japoneses* (Marília: Gráfica Fragata
Ltda., 2005, 168p.) / Nilta DIAS

編集後記

- ◆ 『イベロアメリカ研究』 (ISSN 0388-1237)

・第XL巻第1号 (2018年度前期)

講演

Augusto Roa Bastos: la escritura de la diferencia en el contexto literario paraguayo / Claudia GONZÁLEZ

論文

ペルーの弾劾裁判に関する一考察—クチンスキの事例を中心に—／磯田沙織

移動することによって生き延びる—観光化に伴う貨幣の流入とアンデス漁民の交易活動の再編についての一
試論— / 村川淳

研究ノート

ブラジル日系二世エリートの上候補と投票をめぐる心情と論理—戦後の民主化における 1947 年選挙を事例に—／長村裕佳子

書評

Gustafson, Bret, *Nuevas lenguas del Estado: el pueblo guaraní y la educación indígena en Bolivia* [traducción al español de Rose Marie Vargas], (La Paz: Plural Editores, 2015), 348p. / 中野隆基

資料

ラテンアメリカ日誌—2017 年 7 月～12 月—

研究所ニュース

活動日誌

出版物リスト

編集後記

・第 XL 巻第 2 号 (2018 年度後期)

論文

気候変動パリ協定とラテンアメリカ諸国の対外政策決定／舛方周一郎

Reforma laboral y la industria automotriz en México / OKABE Taku

書評

Burnyeat, Gwen, *Chocolate, Politics and Peace-Building: An Ethnography of the Peace Community of San José de Apartadó, Colombia* (London: Palgrave Macmillan, 2018), xxviii, 263p. / 松丸進

Suárez de la Torre, Laura (coord.), *Estantes para los impresos, espacios para los lectores: siglos XVIII-XIX* (México, Instituto Mora, 2017, Historia social y cultural), 375p. / Nina HASEGAWA

資料

ラテンアメリカ日誌—2018 年 1 月～6 月—

研究所ニュース

活動日誌

出版物リスト

編集後記

§ 来訪者

6 月 25 日 外務省 平成 30 年度「次世代日系人指導者会議」被招へい者
11 月 6 日 Almir ALMAS (ブラジル、サンパウロ大学教授)

§ 図書室

蔵書数：39,889 冊 (和書 4,618 冊、洋書 35,271 冊)

受入継続雑誌：65 点、うち洋雑誌 46 点

購入図書：198 冊 (和書 73 冊、洋書 125 冊)

受贈図書：91 冊 (和書 12 冊、洋書 79 冊)

除籍：3 冊 (和書 2 冊、洋書 1 冊)

§ 人事

- ◆ 正所員 2018 年 4 月 1 日付で Bernat MARTÍ OROVAL 准教授 (外国語学部イスパニア語学科、専門：宗教思想史) が正所員に任命された。
- ◆ 客員所員 大越翼 (任期 4 月 1 日～3 月 31 日)
- ◆ 準所員 藤井礼奈、箕輪茂、大場樹精、齋藤亜子 (任期 4 月 1 日～3 月 31 日)

§ その他のラテンアメリカに関する所員業績 (ABC 順)

◆ DIAS, Nilta

5 月	発表要旨	「アフロ・ブラジル料理:知識、味覚、信仰」、『天理大学アメリカス学会ニューズレター』、No.78、8-9 ページ。
-----	------	---

6月	論文	“«Não há lugar para mim na casa de Deus?»: identidade e espiritualidade de lésbicas brasileiras na região Kanto, Japão”, em <i>Conexión Queer: Revista Latinoamericana y Caribeña de Teologías Queer</i> , Vol. 1, 2018, pp. 15-48. Disponível em < https://repository.usfca.edu/conexionqueer/vol1/iss1/2 >
8月20日 ～29日	現地調査	ブラジル、ベロオリゾンテ、コンタージェン(ミナスジェライス)。幼児教育について研究者と意見交換。
11月28日	論文	「アフロ・ブラジル料理: 知識、味覚、信仰」、『アメリカス研究』、第23号、185-191ページ。
3月	論文	“«¿No hay lugar para mí en la casa de Dios?»: identidad y espiritualidad de mujeres lesbianas brasileñas en la región de Kanto, Japón”, <i>Religión e incidencia pública</i> , Vol. 6, pp. 105-139. (en español), Disponible en: < http://religioneincidenciapublica.gemrip.org/?page_id=188 >

◆GIBO, Lucila

5月	論文	「ブラジルポルトガル語の書き言葉における単純大過去形、複合大過去形、及び単純過去形の交替現象について形態統語論的要因の分析一」、『ロマンス語研究』51号、65-74ページ。
10月20日	学会発表	“O okinawano como língua de herança no Brasil e as peculiaridades dialetais da comunidade okinawana de Campo Grande-MS”、日本ブラジルポルトガル学会2018年度大会(於 天理大学)。
12月20日	パネリスト	“Peculiaridades das línguas faladas na comunidade okinawana do Brasil”, Simpósio Migrações Internacionais: Hibridismo Cultural e Linguístico, Centro de Ensino de Línguas da Unicamp, Fundação Japão e Programa de Pós-graduação em Língua, Literatura e Cultura Japonesa da USP. Em Japan House (São Paulo).
	共著	“Uma análise do PLE de aprendizes japoneses sob a perspectiva da teoria do contato linguístico”, em Ribeiro, Alexandre do Amaral (Org.), <i>Português do Brasil para estrangeiros: políticas, formação, descrição</i> , Campinas, Pontes Editores, pp. 185-197 (ISBN: 978-85-2170-059-3)

◆HASEGAWA, Nina

6月3日	学会発表	“Los impresos religiosos de Vanegas Arroyo: las hojas dedicadas a los santuarios de la zona Otomí-Tlaxcalteca”、日本ラテンアメリカ学会39回定期大会分科会7 文学(於 愛知県立大学)。
3月	論文	“La corrupción de las élites en las obras de teatro del impresor popular Vanegas Arroyo”、『上智大学外国語学部紀要』第53号、181-192ページ。
3月	共著	「現代ラテンアメリカにおける文化・文学研究の新潮流—エンリケ・ドゥッセルの論考を中心に」、浅香幸枝編『交差する眼差し—ラテンアメリカの多様世界と日本』、行路社、163-182ページ。

◆幡谷 則子

6月4日	学会発表	「コロンビア2018年選挙と和平プロセスの行方」日本ラテンアメリカ学会第38回定期大会 シンポジウム『2018年 選挙の年以降のラテンアメリカの展望』(於 愛知県立大学)。
12月17日	講演	「辺境地の実態から見直すべきコロンビアの和平プロセス」社会ソリューションイニシアティブ(SS)「共生対話の構築」プロジェクト研究会(於 大阪大学)。
2月22日	報告	「連帯経済はオルタナティブな社会を構築できるか—ラテンアメリカの挑戦」立命館大学経済学会セミナー(於 立命館大学南草津キャンパス「エポック21」)。
3月	共著	「辺境地の実態から見直すべきコロンビアの和平プロセス」浅香幸枝編『交差する眼差し—ラテンアメリカの多様な世界と日本』、行路社、185-207ページ。

3月15日	論説	「辺境からみるグローバリゼーション—コロンビアの紛争地における民衆社会運動—」、『立命館経済学』、第67巻、第5・6号、808-831 ページ。
3月末日	論文	“Land problems in Colombia after the Peace Agreement”, 東京外国語大学国際日本研究 報告 VI(リポトリ掲載予定)49-60 ページ。
同上	論文	「和平合意後のコロンビアにおける土地問題」(同上、日本語版)61-70 ページ

◆岸川 毅

4月1日 ～3月31日	研究代表者	「アジアとラテンアメリカ地域間関係の新展開」、日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(B))、研究課題番号:17H04511、2017/4/1～2020/3/31。
8月19日 ～27日	現地調査	パナマ、パナマ市。コスタリカ、サンホセおよびプンタレナス。中米・東アジア関係に関する調査。日本学術振興会 科学研究費補助金「アジアとラテンアメリカ地域間関係の新展開」(課題番号 17H04511、研究代表者:岸川毅)による現地調査。
11月11日	報告	“Recent Developments of East Asia-Latin America Relations: An Overview”, 8th Conference of Latin American Studies Council of Asia and Oceania (CELAO), University of Macau.

◆子安 昭子

4月1日 ～3月31日	共同研究 (研究分担者)	「アジアとラテンアメリカ地域間関係の新展開」、日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(B))、研究課題番号:17H04511、研究代表者:岸川毅、2017/4/1～2020/3/31。
5月30日	講演	「ブラジル テメル政権によるメルコスル再構築の動きと日本」(於 日本ブラジル中央協会)
6月2日	討論	日本ラテンアメリカ学会第39回定期大会分科会1「ブラジル・日系社会」長村裕佳子「ブラジル軍事政権における日系政治家のポジションナリティとキャリア戦略」に対する討論(於 愛知県立大学長久手キャンパス)
11月	論文	「ブラジル社会の『怒り』と大統領選挙」『外交』Vol.52、86-89 ページ。
1月	記事	「外交史からみた新政権の課題と問題」『ブラジル特報』1648号(2019年1月)、10-11 ページ。

◆Martí Oroval, Bernat

8月6日 ～28日	現地調査	スペイン(マドリード、バレンシア)。文書館にて16・17世紀イベロアメリカ・フィリピン・日本における宣教活動に関する資料を収集。
3月8日、 11日、12日	現地調査	スペイン(マドリード、アビラ、サラマンカ)。文書館にて16・17世紀イベロアメリカ・フィリピン・日本における宣教活動に関する資料を収集。

◆水谷 裕佳

10月25日	エッセイ	水谷裕佳「米国から見るラテンアメリカからの流入移民問題—国内世論と政策の関係性」『ラテンアメリカ時報』1424号、ラテンアメリカ協会、4-7 ページ。
--------	------	---

◆NEVES, Mauro

4月1日 ～3月31日	共同研究 (研究分担者)	「アジアとラテンアメリカ地域間関係の新展開」、日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(B))、研究課題番号:17H04511、研究代表者:岸川毅、2017/4/1～2020/3/31。
8月7日 ～11日	出張	メキシコ。現地調査および研究者との意見交換。
8月9日	講演	“Hallyu”, en el Centro Cultural Coreano en la Ciudad de México.

8月11日～26日	出張	ブラジル。現地調査および研究者との意見交換。
8月27日～30日	出張	コロンビア。現地調査および研究者との意見交換。
8月29日	講演	“Tres géneros, una historia: Enka, aidoru y j-pop”, Universidad de Los Andes
8月30日～9月2日	出張	パナマ。現地調査および研究者との意見交換。
11月8日～12日	出張	マカオ。CELAO 2018 に参加し、講演。
11月11日	報告	“K-pop or J-pop: Which way to go in Latin America?”, Panel: Developments of East Asia-Latin America Relations: Perspectives from Japan, 8th Conference of Latin American Studies Council of Asia and Oceania (CELAO), University of Macau.

◆田村 梨花

4月1日～3月31日	共同研究 (研究分担者)	「マジョリティに向けた多様化社会の公正教育の在り方:複合的考察」日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(C))、研究課題番号:16K04622、2016/4/1～2020/3/31。
4月18日	講演	「WSF2018 サルバドール『抵抗は創造、抵抗は変革』参加報告」ビエン・ビビール・プロジェクト/ATTAC ジャパン国際ネットワーク委員会主催『世界社会フォーラム2018 ブラジル・サルバドール参加報告会』(於 日本消費者連盟会議室)。
6月23日	講演	「ブラジルにおける地域連携に基づく多様な教育空間の創造と課題」日本比較教育学会第54回大会公開シンポジウム『比較教育学からSDG4を考える』(於 東広島芸術文化ホールくらら)。
3月10日	論文	「ブラジルの教育改革—教育の民主化と地域社会との連携」『人間と教育』第101巻、民主教育研究所、100-105 ページ。
3月20日	論文	「ブラジルにおける地域連携に基づく多様な教育空間の創造と課題」『比較教育学研究』第58巻、日本比較教育学会、95-112 ページ。

◆谷 洋之

4月1日～3月31日	共同研究 (研究分担者)	「アジアとラテンアメリカ—地域間関係の新展開」、日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(B))、研究課題番号:17H04511、研究代表者:岸川毅、2017/4/1～2020/3/31。
8月3日～22日	出張	コロンビア(ボゴタ)。ハベリアナ大学短期研修(LAP)引率。
8月23日～9月5日	現地調査	チリ(サンティアゴ)およびメキシコ(サラマンカ、メキシコ市)。日本学術振興会科学研究費補助金「アジアとラテンアメリカ—地域間関係の新展開」(課題番号17H04511、研究代表者:岸川毅)による現地調査。
10月16日	報告	“La exportación del aguacate de México y los otros países de la Alianza del Pacífico al mercado japonés”, IV Simposio Internacional: Relaciones entre América Latina y Asia Pacífico frente a la transformación global, Universidad Iberoamericana, Ciudad de México.
11月11日	報告	“Too Strong Competitor, Complement to NAFTA, or Potential Market?: China’s Impact on Mexican Economy”, 8th Conference of Latin American Studies Council of Asia and Oceania (CELAO), University of Macau. [Summary is available at < http://dept.sophia.ac.jp/fs/en/faculty_research/too-strong-competitor-complement-to-nafta-or-potential-market-chinas-impact-on-mexican-economy/ >].
12月3日	論説	「ニュースを紐解く:地球の裏側のできごとを自分のこととして受け止める—『キャラバン』現象を日本から読む」『読売新聞オンライン』< https://yab.yomiuri.co.jp/adv/sophia/opinion/opinion_20.html >。

2月20日 ～3月3日	現地調査	メキシコ(メキシコ市、シナロア州クリアカン)。アジア経済研究所「次世代の食料供給の担い手:ラテンアメリカの農業経営体」研究会現地調査。
3月10日 ～21日	出張	メキシコ(グアナフアト、サラマンカ、メキシコ市)およびコロンビア(ボゴタ)。「大学の世界展開力強化事業:中南米等との大学間交流形勢支援(LAP)」協定校訪問。
3月22日	論文	『『勘と経験』と『知識と技術』の交わる場所:メキシコにおける輸出向け野菜生産企業の挑戦』、清水達也編『途上国における農業経営の変革』アジア経済研究所、157～192 ページ。
3月31日	論文	「NAFTA後のメキシコおよび米国における野菜生産の変化:労働力不足への対応を中心に」、清水達也編『次世代の食料供給の担い手:ラテンアメリカの農業経営体』調査研究報告書、アジア経済研究所。

◆矢澤 達宏

5月26日	学会発表	「あるブラジル黒人運動家にとってのアフリカ——1960～70年代におけるアブディアス・ド・ナシメントの黒人解放思想」日本アフリカ学会第55回学術大会(於 北海道大学)。
-------	------	--

◆吉川 恵美子

7月10日	共著	桜井三枝子著・編集『グアテマラを知るための67章』【第2版】項目執筆。「グアテマラ映画」(pp.342-346)、「グアテマラ現代演劇小史」(pp.347-351)、明石書店。
8月1日 ～8日	現地調査	ペルー(リマ市)。「ユヤチカニ劇団」主催第10回公開ワークショップ参加。
8月10日 ～30日	現地調査	メキシコ(メキシコシティ)メキシコ国立新聞図書館で調査。
8月22日	セミナー 報告	国立芸術センターCITRU 演劇研究所内の「佐野碩セミナー」にて報告。テーマ:佐野碩到着時のメキシコ演劇事情。
10月13日	学会報告	「劇団ユヤチカニと作家アルゲダス、2018 日本イスパニヤ学会第64回大会(於 南山大学)。
11月15日 ～12月6日	ワークショップ 企画運営	「学生参加型パフォーマンス創作企画～身体アートから社会を見つめる～ペルー人物話を創ってみる」(於 上智大学および蒲田教会)[主催 上智大学グローバル・コンサーン研究所]。
3月27日	年鑑記事	「〈壁〉を越える演劇」、『国際演劇年鑑 2019 世界の舞台芸術を知る』、国際演劇協会 ITI 日本センター、73-81 ページ。
3月27日	翻訳	「カルロス・セルドラ・ワールド・シアター・デイ・メッセージ」、『国際演劇年鑑 2019 世界の舞台芸術を知る』、国際演劇協会 ITI 日本センター、8-10 ページ。

上智大学イペロアメリカ研究所

〒102-8554
東京都千代田区紀尾井町 7-1

Tel. 03-3238-3530
Fax. 03-3238-3229
E-mail: ibero@sophia.ac.jp
URL: <http://dept.sophia.ac.jp/is/ibero>

所長
副所長
正所員

Mauro NEVES
岸川毅
Nilta DIAS
Lucila GIBO
Nina HASEGAWA
幡谷則子
子安昭子
Bernat MARTÍ OROVAL
水谷裕佳
田村梨花
谷洋之

名誉所員

Helena TOIDA
内村俊太
矢澤達弘
吉川恵美子
Jaime FERNÁNDEZ
堀坂浩太郎
Osvaldo HURTADO
今井圭子
小林一宏
三田千代子
水野一
中川和彦
清水憲男
高山智博
